



発行所 岡山県立笠岡高等学校 同窓会 岡山県笠岡市笠岡3073の2 事務局 岡山県笠岡市笠岡3073の2 電話 0865 (62) 5128 印刷 株式会社印刷所

創立一一二周年を迎え決意を新たに



同窓会会長 古山泰生

笠岡高校同窓会の皆様には、日頃から伝統ある本校の飛躍・発展のため、格別のご支援とご尽力を賜っており、厚く御礼申し上げます。

「国家百年の計は教育にあり」と言われますが、本県には、藩を企業として考え、空前絶後の改革を成し遂げた山田方谷をはじめ、皇室の帝王学のご進講に多大な影響を与えた箕作阮甫や治山・治水事業等により、池田光政公を補佐し、閑谷学校の前身である日本最初の庶民学校を開いた熊沢蕃山など、傑出した教育界の偉人が数多く存在します。教育の歴史で、山田方谷や箕作阮甫、熊沢蕃山などが活躍した時代の岡山の教育は、誰が見ても刮目すべきものがありました。

池田光政公から脈々と受け継がれている教育県岡山の素晴らしい伝統や気概を、教育の回生に生かさなければなりません。今でも深く印象に残っておりますが、私は以前、教育回生の手法として有効な取組を実践している島根県立

隠岐島前高校を視察したことがあります。この高校は、就職を目指す高校でしたが、島留学制度を導入し、優秀な進学校に生まれ変わりました。

今までは、若者は都会を目指していましたが、この高校の取組は、その流れを都会から地方へという逆の発想です。しかも、それだけでなく、地方が都会あるいは世界に向けて、先導するような考え方を発信する取組を進めているのです。彼らはそれをグローバルと呼んでいます。

グローバルとは、ローカルとグローバルを掛け合わせた新しい言葉です。地方から、都会の知恵や力を導入する、また、地方から世界へ発信する。そういう構想で地域ぐるみでの高校の魅力化プロジェクトに取り組み、大きな成果を上げていました。

さて、笠岡高校の東京支部や近畿支部には、各界で活躍されている大勢の優秀な同窓生の皆様がいいます。私も先日、東京支部の同窓会に出席してまいりましたが、毎年、支部総会では、大勢の皆様にお集まりいただき、充実した活動が行われています。

ごあいさつ

学校長 松下 晶子



次代を担う 若者を育てる

千鳥会の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。笠岡高校にいつも変わらぬ温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

ご承知のように、笠岡高校は、今年度で創立百三十二年目を迎え、二万四千人を超える卒業生を世に送り出してまいります。長い歴史と伝統により培われた自由な校風の中、生徒たちは、熱心に勉学や学校行事や部活動に取り組んでおります。

全校生徒数は五百八十三名で、およそ九割の生徒が部に所属し文武両道を実践しています。平成二十七年、運動部では、剣道部の二年生男子と陸上競技部の三年生男子が中国地区大会に出場いたします。また、昨年度、文芸部の三年生女子が「文芸道場おかやま」の散文部門で最優秀賞を獲得した実績により、今年夏、全国高等学校総合文化祭（滋賀大会）に文芸部の後輩が出席することになりました。代表となった三人の健康を祈りたいと思います。本校独自の事業である「科学技術人材育成事業」も三年目を迎え、科学に対



する興味や関心を高め、将来、科学技術の分野を目指す人材を育てる取組を引き続き推進しております。この事業においても、千鳥の卒業生の方々に大きなお力添えをいただいております。昨年十月には、東北大学大学院博士課程に学ぶ別府翔平さんにより、「光通信工学を専攻して」という演題で、日進月歩の最先端分野の研究についてお話ししていただきました。また、平成二十七年一月には、東京農工大学大学院博士課程を修了され、現在は保育士として勤務されている妹尾綾さんに講演をしていただきました。博士課程での研究内容に加えて、キャリアデザインとの観点からも大いに参考となる興味深いお話を伺うことができました。

また、生徒の主体性を一層引き出す活動として、「公開千鳥ラボ」を昨年度からスタートさせました。地域の中学生を笠岡高校に招き、千鳥生とともに実験や実習を行うことを通して、科学の楽しさを体験してもらおうというものです。白衣を身につけた千鳥生たちは、中学生たちの実験をしっかりとサポートできて、充実感を味わうことができたようです。新聞やテレビでも取り上げていただき大きな反響がありました。今年度も秋に実施予定です。

今年度は、これからの社会で必要とされるコミュニケーション力、プレゼンテーション力を高めるための指導にも一層力を入れてまいります。笠岡高校は、これからも生徒一人ひとりの主体性を尊重し、可能性をしっかりと

東京支部総会報告

昭和六十年卒 大島 康正

伸ばし、千鳥の先輩諸氏の期待にこたえられるような社会に貢献できる若者を育ててまいりたいと考えております。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、千鳥会のみならずのご発展と皆様のご健勝を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。

五月としては異例の三十度近い猛暑を記録した三十日、千鳥会東京支部総会が、昨年と同じアリスアクアガーデン品川で開催されました。来賓として千鳥会古山会長以下本部の方々、近畿支部岡山支部長、笠岡高校松下校長、恩師川上先生、井上先生をお招きし、総勢八九名の方々に参加いただきました。恒例の第一部に引き続き恒例の第二部は、「ふるさと再発見」をテーマとして、小林嘉文様（昭和五十四年卒）、小山勇様（平成二年卒）にお願いし、瀬戸の海が育む「海苔」、吉備の風土が生んだ「麺」について、お話とクイズの景品をご提供いただきました。

お土産として、味付け海苔、美人うどんに加え、一月の鳥インフルエンザを乗り越えられた采女勝美様（昭和五十九年卒）から、名物「純卵」をご提供いただきました。参加者の皆様は同窓会後も胃袋を刺激されながら今のふるさとに思いを馳せられたことでしょう。

近畿支部総会報告

昭和四十七年卒 吉川（堀）雅佳子

今回は昭和六十年卒が幹事を務めさせて頂きました。高校卒業後三十年という時の経過に最初は戸惑いながらも和気藹藹と進めてきました。準備に際して笠岡市在住の同級生から多くの助言、当日は島根、大阪、福岡からの参加とまさに同級生全員一丸体制でした。夜、帰宅途中の地震遭遇も含め、非常に思い出深い一日となりました。

昨年度千鳥会近畿支部総会は一昨年同様大阪うめきた地区にほど近い大阪弥生会館に於いて九月二十八日に開催されました。古山同窓会会長、堀副会長、東京支部田中氏、松下校長先生、本部事務局佐藤先生の五名の御来賓の御臨席を賜り総勢三十三名の御出席を頂きました。昭和二十年卒業の佐藤智恵大先輩から平成二十六年卒の堀須美子さん迄幅広くお集まり頂き同じ故郷を持つ者同士の歓談会も瞬間に時間が過ぎて行きました。恒例の現校歌斉唱に始まり「故郷」斉唱で締め括りました。今後共更に世代を超えての交流を深めて行くことが会の存続の奥深い意義があるところと感じています。

今回残念な御出席頂けなかつた会員の皆様にも平成二十七年年度の総会（九月二十七日大阪弥生会館十二時より）には是非ご参加いただき共に千鳥ヶ丘に想いを馳せて頂けたら嬉しく思います。永年総会を開催した



卒業半世紀の思い出

昭和三十七年卒 樋口 美智子

早いもので卒業五十二年になり高齢者と呼称される年齢です。一昨年前の三月発行同窓会名簿から古稀ともなれば懐かしい朋友も物故者欄に記載され淋しさを感じています。

私が笠岡在学中に明治三十五年第一回卒業生で名誉同窓会長であった長野 長様から女学校時代のお話を伺う機会がありました。明治三十五年当時、校内の丘に僅か十二人の同級生の友と行動を共にしていたその時、「千鳥の習性で淋しいと常に群れになつて仲間を支え合いが保たれている。」との友人の言葉に共

**若者に期待する**  
昭和四十七年卒  
妹尾 一弥

我々が在籍したのは昭和四十四年四月から昭和四十七年三月でした。高校を無事に卒業し、京都の大学に入学しました。しかし、それからが大変でした。昭和四十八年十月に発生した石油危機により経済が悪化し、卒業する頃には就職難の時代となったのです。

私も、総理府主催の日本青年海外派遣団欧州班の一員として、デンマーク及び西ドイツを約三週間にわたって訪問する機会に恵まれました。帰国後は、国主催の中国青年招聘事業、さらに岡山県のマレーシア青年との国際交流事業等に参加しました。

**同窓会に思う**  
昭和五十七年卒  
藤井 幹久

『今年の同窓会の幹事は七のつく学年』という連絡を受けた時、高校時代の友達、恩師の顔が次々と頭に浮かんできた。私はなぜか「ほっ」として顔がにやけてしまった。

最近若者が海外に行きたがらなくなつたということをよく耳にするようになり、私には、このことを耳にするたびに、非常に残念に思います。行動力もあり、何事に対しても敏感な若いあなた方こそ、日本を飛び出して海外で色々なことを経験してほしいと願うばかりです。その経験したこと、きつと今後の日本の将来について役立つと思うからであります。さて、みなさんはどう思われますか。

**シミは回りに回って宝物?**  
平成七年卒  
矢野 友子 (旧姓小寺)

「母さんの顔には、ホクロがいくつかある。」と子どもが言うたびに、慌てて鏡を見ます。気づけばお肌の気になる年齢になりました。今、私は四人の子どもの母親となり、子育て真っ最中です。高校時代には想像すらしていませんでした。

大切な物がある一方で、子供達を取り囲む環境は、激変していることを痛感する。少子化、IT化、グローバル化の波は、なりふり構わず、そこに生活する人達を巻き込んで進んでいく。(IT化で同窓会の連絡も、大変とりやすくなっている) 以前ラジオが一般化(五千万人ものユーザーを獲得)したと言われるまでに、三十八年の歳月を要したが、フェイスブックはわずか一年三か月で到達したそう。

**大切な出会い**  
平成十七年卒  
山成 菜緒美

気付けば、卒業して早くも十年。それでも相変わらず、年に一回は必ず集まるメンバーがいる。大学生となり、社会人となり、妻となり、そして、母親になっていくメンバーたち。会うたびに、「変わらないね。」と「大人になったね。」と言葉を交わす。最初は、数人で集まっていたが、次第に子どもを連れての開催になり、友人たちの母としての姿に偉大さを感じたり、変

絡を取り合い、集まる仲間にも出会いました。当時は懐かしみながら話している、それぞれの道で異なる時間経過も、あの頃と変わらない言葉のやり取りが心地よく、時間が過ぎるのを忘れてしまいました。部活だけでなく勉強や学校生活も共に頑張り、時間を共有していたからこそ、いくつになっても分かりあうことができ、日常に追われ自分を失いそうになつても、たわいのない話で盛り上げられるのだと思います。仲間に出会った日は、新鮮な気持ちで家に帰れます。親となり仲間や家族、恩師とのつながりや感謝の気持ちを強く意識するようになりました。子どもにシミの言い訳をしたくなりますが、これは私の軌跡であり大切な思い出です。



**高校生活**  
平成二十七年卒  
吉田 遥晴

「岡山・笠岡高校出身」  
大学に入学し、自己紹介をする度に言っていた、この言葉。懐かしさを感じる。同時に、遠くで頑張っている仲間のことを思い、自分も頑張ろうと気が引き締まる。大学生活に慣れてきた今、ふと、高校の頃を思い出す。

わらない笑顔に懐かしさと安心感を得たりと、毎年欠かせないイベントとなつていく。年に一回の会ではあるが、会はずいぶん話に花が咲き、近況報告や学生時代を懐かしんでの話は尽きない。そんな彼女たち以外にも、「千鳥」では、かけがえのない友人たちに出会うことができた。

**部活動報告 H26年度**

- 書道部
  - 第60回岡山県児童生徒書道展 岡山県高等学校書道連盟会長賞/山本
- 美術部
  - 高校生美術コンクール 金賞/小谷・大月
- 物理部
  - 日本物理学会 第11回Jr.セッション ゴム球の跳ね返り第2報
- 文芸部
  - 高校生文芸道場おかもま2014 散文部門最優秀賞 掛谷
- 英語部
  - 岡山県高等学校 英語スピーチコンテスト 優秀賞/福尾・秋田

会話。そんな日々があった一方で、悩み、苦しんだ日々もあった。勉強のこと、部活やクラスのこと。特に受験期は、諦めて楽な方へ流れたいと、本気で思つたこともあった。

今思い返せば、そういつた日々には周囲の人達の優しさを感じ、また乗り越えたから成長できたのだと感じる。共に悩み、励まし合い支え合つた仲間。時には厳しく、時には優しく指導してくださつた先生方。いつも温かく見守ってくれた家族。高校を卒業して、仲間や先生方には会えなくなつたが、一緒に過ごした日々を思い出すと、不思議と頑張れる気がしてくるのだ。

先輩の皆さんには、苦しく辛いことに挑んで欲しい。また、そういつた状況にある仲間を支えてあげて欲しい。後に、高校生活での経験が糧になるから最後にになりましたが、笠岡高校のますますの御発展を心から祈っています。

**山岳部**

- ・県総体登山競技予選会 男子5位・女子2位
- ・県総体 男子5位・女子2位
- ・第53回中国登山大会岡山県予選 男子3位、女子2位
- ・男女ともに中国大会出場
- ・第54回中国大会 団体男子10位
- ・秋季登山大会 踏査男子優勝/藤井
- ・踏査女子2位/瀬戸
- ・団体男子4位

**陸上競技部**

- ・県総体男子走幅跳 立間8位
- ・国体最終選考会 少年男子B100m中野7位
- ・高校陸上選手権大会 女子やり投げ 広畑8位
- ・第62回岡山県高校 新人陸上競技大会 男子走幅跳 立間8位
- ・女子やり投げ 広畑7位
- ・ハンドボール 県高校春季優勝大会 ベスト16
- ・県総体 ベスト16
- ・夏季大会 ベスト16
- ・第46回岡山県高校 ハンドボール選手権 ベスト16

**ソフトボール**

- ・夏季大会 ベスト8
- ・バスケットボール(女子) 玉島浅口笠岡地区 バスケソフトボール大会優勝

**バドミントン(男子)**

- ・県総体西部地区予選 団体 5位
- ・県秋季大会西部地区予選 ダブルス 遠藤・天野7位
- ・県総体西部地区予選 ダブルス1位二階堂・山川
- ・県秋季大会西部地区予選 団体 第1位
- ・ダブルス 二階堂・山川 第1位
- ・植本・中川 第3位
- ・県秋季大会 団体戦 ベスト8
- ・ダブルス二階堂・山川 ベスト16